



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

関西支部の活動

はじめに

コロイドおよび界面化学部会関西支部は、近畿とその周辺地域を含む部会メンバーに対するコロイド・界面化学に関する情報交換や学術的活動・普及を行うことを目的として1981年に組織された歴史のある支部です。

関西支部では、毎年夏に「関西界面科学セミナー」と冬に「コロイド・界面実践講座」を開催しています。「関西界面科学セミナー」は、コロイド・界面化学の基礎を、「コロイド・界面実践講座」は、主に企業の研究者・技術者向けにコロイド・界面化学の応用を学ぶ場として企画しています。コロイド・界面化学の基礎を学ぶ場としては、部会が主催する「界面コロイドラーニング」を2010年度から大阪でも開催し、毎年多くの方々にご参加いただいています。コロナ禍で3年間はZoomによるオンライン開催でしたが、2023年度は4年ぶりに大阪科学技術センターにて対面で開催しました。参加者から講師に多くの質問が寄せられ、オンラインではやりとりのしにくさや不便さを感じることもありましたが、対面での開催の素晴らしさを改めて感じました。

第41回 関西界面科学セミナー

2023年度の「第41回関西界面科学セミナー」は7月29日(土)に奈良女子大学で開催しました。昨年度までのオンライン開催から4年ぶりの対面での開催となりました。関東や北陸からの参加者も含めて、97名の多くの方にご参加いただきました。『泡の構造・性能・機能～基礎

から応用まで』をテーマとし、最近注目されている泡について、この分野で活躍されている大学・企業の研究者に、基礎から応用までわかりやすく解説していただきました。講演は次のとおりです。

- (1)「泡の基礎と泡沫の新たな構造解析法」(東京理科大学助教 矢田詩歩氏)、
- (2)「界面吸着の熱力学を基盤とした泡膜の状態制御」(広島大学准教授 松原弘樹氏)、
- (3)「ギネスビールの泡が織りなす模様の力学と数理」(東京大学助教 渡村友昭氏)、
- (4)「高濃度エタノール水溶液の泡沫安定性を高めるには？」(東京理科大学准教授 酒井健一氏)、
- (5)「心地よさだけではない～皮膚洗浄における泡の機能～」(花王株式会社研究員 園田純子氏)、
- (6)「バイコンティニュアスマイクロエマルション泡沫によるメイク落とし」(武庫川女子大学教授 渡辺啓氏)。



セミナーの様子

参加者から多数の質問が寄せられ、活発な議論が展開されました。講演終了後、若手研究者と学生によるポスター発表(18件)を懇親会と兼ねて行いました。予定時間90分を超えるほどの熱心な質疑応答が続き、産学官の交流も活発に行われました。支部委員の厳正な審査の結果、王珊さん(奈良女子大学)「対イオンにグリシンを有する四級アンモニウム塩

系ジェミニ型界面活性剤が形成する会合体の中性子小角散乱による構造解析」、上田浩輔さん(関西大学)「金25量体担持g-C₃N₄ナノシートの超音波/光触媒活性による水素発生」、宮田拓馬さん(甲南大学)「臨界浸透圧に基づく液体の粉体化を決定する因子についての研究」に優秀ポスター賞が授与されました。



ポスター発表の様子

コロナ禍に入ってからオンライン開催が続いていましたが、今回4年ぶりに対面での開催となり、講演、ポスター発表、懇親会のすべてで深い議論ができることを改めて認識しました。

おわりに

関西支部のもう1つの重要なイベントである「コロイド・界面実践講座」は12月に開催予定です。詳細が決まり次第、部会ホームページでお知らせします。奮ってのご参加をお待ちしております。

関西支部では、「コロイド・界面化学の基礎から応用まで」を広く、深く学ぶ機会を提供できるようなセミナー・実践講座の企画を心がけています。今後とも関西支部の活動にご支援をよろしくお願い申し上げます。

〔2023年度関西支部長 吉村倫一
(奈良女子大学)〕

© 2023 The Chemical Society of Japan